共同実施機関:上智大学

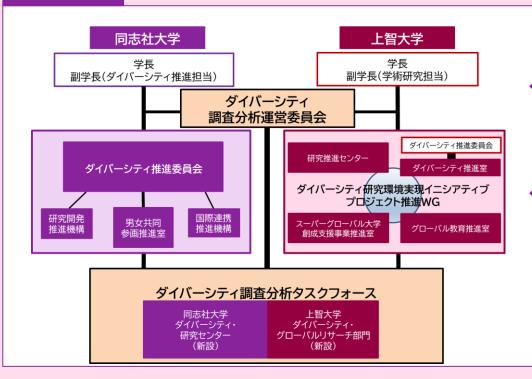
実施体制

- ◆「ダイバーシティ調査分析運営委員会」「ダイバーシティ調査分析タス クフォース」を同志社大学・上智大学の合同組織として、本事業のた めに新設
- ◆ 同志社大学は学長、副学長(ダイバーシティ推進担当)の下にダイバーシティ推進委員会(既設)、上智大学は学長、副学長(学術研究担当)の下にダイバーシティ研究環境実現イニシアティブプロジェクト推進WG(新設)を置き、両大学のダイバーシティ推進の基盤組織とした上で、ダイバーシティ調査分析タスクフォースの調査分析活動への専門的な助言と、各機関の機関内のダイバーシティ推進の戦略立案へ反映

特長

- ◆ 女性研究者活躍のための世界水準の環境および先進的取り組みの 調査
 - ドイツのアカデミアを監査するダイバーシティAudit
 - アメリカのダイバーシティ推進状況とマネージメント
 - タイの国立大学での特徴的な女性研究者支援状況
- ◆ 私立大学特有の課題を検証し、私立大学のダイバーシティ推進モデルの構築
- ◆ 日本の大学に適したダイバーシティ推進の評価項目の検討とモデル 構築

体制の概要



◆ ダイバーシティ調査分析運営委員会

両機関より実施責任者となる副学長・国際連携担当副学長、男 女共同参画(ダイバーシティ)推進室長、ダイバーシティ調査分析 タスクフォースの代表者等から選出した複数名で組織し、調査分 析の計画立案、進捗管理、点検等、事業全体の運営を統括

◆ ダイバーシティ調査分析タスクフォース

- 「同志社大学ダイバーシティ研究センター」と「上智大学ダイ バーシティ・グローバルリサーチ部門」で構成され、実際の調 査・分析活動を実施
- 学内のダイバーシティ推進関連の有識者、ダイバーシティ、 ジェンダー、労働問題の研究者に加え、社会調査の専門家、理 工系女性研究者、調査研究員、職員、URA等で構成

取り組み概要

1. 学内調査・分析の実施 ダイバーシティに関わる意識・実態に関わる学内調査を実施し、

集計・分析結果を国内外調査項目策定に反映

- 2. 国内機関へのアンケート調査およびヒアリング調査 女性研究者の活躍や管理職登用が進んでいる私立大学を中心に、 地域ブロック毎に調査対象校を選定・ヒアリング実施
- 3. 海外機関へのアンケート調査およびヒアリング調査
 - テュービンゲン大学(独):ダイバーシティAuditに関する調査
 - スタンフォード大学/ハーバード大学(米):アメリカの高等教育 機関特有の採用や評価システム、キャリア支援面制度や風土、女 性教員の登用を促進するためのキャリア形成への影響と制度に 関する調査
 - マヒドン大学(泰):タイの国内事情や政府の政策、それに伴う大

学の各種政策などについて調査

4. 研究成果等の対外発信 国際シンポジウムでの成果発信 国·各研究機関 等のレベルで の活用方策

- 国策としてのファン ディング・システム
- 認証制度



補助期間終了後(2023.4-)

推進モデルの実践と評価

- ・両機関の推進目標と実行計画に反映⇒実施
- •推進状況を評価できるマネジメントチェックリストの運用

私立大学

他機関への波 及効果

- •世界水準の処方箋
- •私立大学の強みを
- 生かした推進モデル

同志社大学のダイバーシティ推進

2009年 男女共同参画推進室設置

2016年 JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に「「科学する

ガールズ | 養成プログラム | が採択

2018年 JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に「「科学する

ガールズ | 養成プログラム | が採択

2020年 女性初学長

「科学するガールズ養成プログラム」が第3回リカジョ育成賞準グ

ランプリ(公益財団法人日産財団)受賞

JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に「世界に羽ば 2021年

たく「科学するガールズ」養成プログラム」が採択

お問い合わせ

機関名:同志社大学

所在地: 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

連絡先:ji-kikak@mail.doshisha.ac.jp(学長室企画課)

HP:https://doshisha-diversity.jp/doshisha-sophia/

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。